

(一) 新上越政治学校 (二月十日—十三日、田所)
 (二) 新上越政治学校 (三月十日—十三日、平野、須永)
 (三) 上越政治学校 (三月十日—十四日、平野)
 (四) 西那須政治学校 (四月一日—五日、田所、大賀、平野、茅沼)

五、研究会

教育部は左の研究會に講師を配属す。
 (一) 尾久支部 (四月一日、角田) (二) 純勞本部 (四、三、角田) (三) 木材労働 (四、八、角田)
 (四) 尾久支部 (四、二、四、平野) (五) 青バズ本部 (四、二、八、田所)

六、教育資料作成

(一) 第一輯 興隆の大家と及落 (社民三月) (二) 第二輯 労働党の近況 (三月) (三) 第三輯 比例代表制 (三月) (四) 第四輯 失業と再 (四、五月) (五) 第五輯 軍縮と軍備 (五月)

七、無産者教育協会

教育部は毎會の決議と常任部の認可を得て五月五日党関係の組合教育部、労働政治農民学校長及び教育出版社長の会合を召集し、無産階級独立教育斗争の機関としての無産者教育協会の組織を提唱し賛成を得て結成す。會議は会長河上丈太郎、書記長田所輝明を推薦す。以上

宣傳部報告

部長 高橋 太郎
 副部長 松本 三郎

昭和四年変党全国大会以後現在に至る、我宣傳部の活動は主として選挙斗争に於ける并士の派遣であった。

一、横浜市會議員選挙應援
 松本淳三、角田藤三郎、岩崎正三郎、三君を主任并士とし、麻生、河野、三輪、茅沼、加藤、氏等を適当派遣す。

二、第二次普通選挙議院議員選挙應援
 此は各候補者の自給自足の形に於て考され、絶対必要地区にのみ并士を派遣せり。

三、東京区会本所、牛込、茅草、選挙應援
 四、秋田県会選挙應援
 五、岩崎正三郎君を派遣す。

五、宇都宮市会選挙應援、麻生、茅沼氏を派遣す。

六、一般宣傳演説會并士派遣
 此は地方支部若くは支部聯合會の要請に依り并士の派遣を為したるのであるが、麻生、河野、松谷、茅沼、加藤、茅沼氏等が主として活動せられた。

七、特別遊説隊派遣
 全国的遊説の一部として、四月五日名古屋、麻生、加藤、松谷、氏を派遣す。

四月六日、京都市、麻生、河上氏を特派す。五月十三日、三重、岡山へ加藤、茅沼を特派す。

婦人部報告

部長 細田 綱吉
 副部長 藤三郎